

2021年8月3日
エスリード株式会社

脱炭素社会の実現に向けたエスリードグループの取り組みについて

- 地域社会、持続可能な社会への貢献を目指して -

■ 社会的要請

2015年に開催されたパリ協定以降、脱炭素社会の実現は世界的に取り組むべき重要な課題となっています。日本においても、2020年10月に菅総理大臣が「2050年までに日本での脱炭素社会実現」を所信に掲げ、12月末に経済産業省が「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定するなど、脱炭素社会の実現への取り組みはさらに本格化するものと期待されています。

■ エスリードグループの考え方

エスリードグループは、経営理念として「総合デベロッパーとして。都市と住まいの未来を見据えて。」、社会的使命の一つとして「多様化する社会のニーズへの対応を通じ持続可能な社会に貢献する。」を掲げていることから、脱炭素社会の実現については取り組むべき重要な課題であるとの認識のもと、いち早く以下の取り組みを実施いたしました。

■ これまでの取り組み

2019年9月、電力供給事業を手掛けるグループ会社の綜電株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役：黒川 博志）が静岡県賀茂郡に太陽光発電設備を取得し、現在までに6基を取得するなど、メガソーラーによる太陽光発電事業を積極的に推進してまいりました。なお、この電力を当社販売のファミリータイプマンションに供給した場合、約20%およそ2,500戸の消費電力を賄うことが可能です。

■ 今後の方針

今後は太陽光発電設備の取得のみならず、太陽光発電電力を用いたマンション居住者向け電気自動車カーシェアリングサービス、マンション屋上に設置したパネルによる自家消費型太陽光発電、風力由来電力の提案を検討するなど、お客さまに選ばれるサービスを提供し、これまで以上に脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■太陽光発電設備取得事例（北海道千歳市）



【 ニュースリリースに関するお問い合わせ先 】

エスリード株式会社 経営企画部 IR 担当

TEL : 06-6345-1880 MAIL : press@eslead.co.jp

■会社概要

社名 : 綜電株式会社

代表者 : 代表取締役 黒川 博志

所在地 : 大阪府大阪市北区大淀南 1 丁目 5 番 1 号

設立 : 2006 年 5 月

URL : <https://www.gelpow.co.jp/>

エスリードグループ

SD 綜電